

化学テロ対応連携訓練の実施

救急救助課

去る7月27日、消防と警察が「国」と「現場」の双方で連携して行う初めての化学テロ対応連携訓練を実施した。東京消防庁及び警視庁両者のNBCテロ対応専門部隊が一緒になっての迅速・的確な除染・救助活動が行われ、麻生総務大臣、小野国家公安委員会委員長らが視察した。

テロ災害が発生した場合、関係機関の連携は大変重要であり、訓練でも総務省消防庁と警察庁とが、互いの対策本部にリエゾンを派遣し合い、また双方で撮影した映像を互いに配信し合う等画期的な試みも実施したところである。

今回の訓練は、これまでの消防・警察の連携の成果を踏まえ、東京都の協力を得て、行ったところだが、訓練で得られた成果については、今後地方公共団体等関係機関に積極的に提供していく予定である。

これを皮切りに、関係機関の連携の下に、全国各地でテロ災害を含め様々な訓練が実施され、国民の負託に応えていくことが期待される。

1 実動訓練

神経剤が、地下鉄コンコースに撒かれた想定で、駅職員による119番、110番通報、避難誘導がなされた後、消防、警察のNBC部隊により検知、救助、現場除染を、また場所を移し新宿中央公園にて要救助者除染、トリアージ、救急

搬送に至る想定で実施。

(1) 日時・場所

平成16年7月27日(火)11時00分～12時00分頃までの間
都営大江戸線・都庁前駅「地下広場」及び新宿中央公園「水の広場」

(2) 参加機関

総務省消防庁、警察庁、東京都、東京消防庁、警視庁
約100名参加

(3) 視察者

麻生総務大臣、小野国家公安委員会委員長、小西総務大臣政務官等

2 図上訓練

上記実動訓練と並行して、東京都以外の2カ所(成田、西宮)を発災場所と想定し、緊急消防援助隊の出動指示訓練、警察庁との連絡訓練等を内容とする図上訓練を実施。

(1) 日時・場所

平成16年7月27日(火)10時45分～12時00分頃までの間
総務省消防庁危機管理センター等

(2) 参加機関

総務省消防庁、警察庁、成田市消防本部、西宮市消防局、関係県警察 約100名参加



消防庁危機管理センターにおける図上訓練風景(スクリーンには現地の映像)



医療チームと救急隊による現場救護所における重傷者の応急処置



地下鉄構内からの消防・警察機関による救出活動



現場指揮本部を視察する大臣ら